



発行所
一般財団法人
大田市青少年活動協会
あいず・おおさか
〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35
大阪市教育会館内
TEL 06-6942-0410 FAX 06-6949-3182
https://ays-osaka.jp
編集発行人 三保 洋士

◆リニューアルから15周年を迎えました◆

～吹田市自然体験交流センター・わくわくの郷～

令和6（2024）年、吹田市自然体験交流センター・わくわくの郷は、平成21（2009）年のリニューアルから15周年を迎えました。昭和36年に吹田市青少年の家として開設し、その後改修や改称を行いながら、この地で多くの青少年に愛されてきました。しかし、施設の老朽化が進んだため、青少年のみならず、幼児から高齢者まであらゆる市民が環境学習、自然体験学習ができる生涯学習拠点として整備し、太陽光などの自然エネルギーを活用する環境共生型施設へと生まれ変わりました。



◆リニューアルしたわくわくの郷の3つの特徴－

①環境共生型施設の取り組み

太陽光発電システムや地熱利用ヒートポンプを導入し、本館棟の電力や温度調整に活用しています。また、間伐材を用いたペレットを燃料とするストーブをキャビンに設置するとともに間伐材や再生材を活用した床材やテーブル等を使用することでぬくもりのある空間を演出しています。

②整った宿泊施設

宿泊定員140名の宿泊室、食堂、浴室（2か所）、研修室、工作室等を兼ね備えたバリアフリー仕様の本館棟へと整備したことにより、幼児から高齢者まで様々な方が安心して、目的に応じた活動ができるようになりました。



③キャンプカウンセラーの養成

主催事業や施設利用においてプログラムの支援や指導を行う大学生のキャンプカウンセラーを養成しています。年間を通した研修と活動を繰り返すことにより、指導者としての資質を高め、わくわくの郷を利用する多くの利用者の皆様に安全・安心な自然体験を提供しています。

◆年間利用団体数、利用者数の推移

年度	団体数	延人数	運営
平成21年	486	25,478	吹田市直営
平成22年	701	35,191	〃
平成23年	610	30,755	〃
平成24年	695	38,129	指定管理（協会）
平成25年	735	38,503	〃
平成26年	728	41,050	〃
平成27年	831	43,872	〃
平成28年	786	46,602	〃
平成29年	835	45,075	〃
平成30年	739	43,445	〃
令和元年	767	45,510	〃
令和2年	404	11,688	〃
令和3年	543	15,862	〃
令和4年	736	30,196	〃
令和5年	734	39,359	〃

協会は、指定管理者制度が導入された平成24年から運営を開始し、12年が経過しました。それまで3万人前後だった利用者数は、協会が運営を開始して以降順調に伸び、コロナ前には、4万5千人前後の水準となりました。



◆自然災害や猛暑、新型コロナウイルスへの対応

この15年の間、自然災害や猛暑、新型コロナウイルスの感染拡大など様々な影響を受けました。

平成30年9月には、大型の台風が大阪を直撃し、野外炊飯場の屋根が飛ばされたり、多くの樹木がなぎ倒されたり、進入路が

通行できなくなるなど大きな被害を受けました。秋の遠足シーズンに間に合わせるために協会が運営する他施設の職員や協会ボランティアスタッフらの応援により活動エリアの復旧を急ぎました。



また、近年は、地球温暖化による猛暑も野外活動の安全面を脅かす存在となってきています。わくわくの郷では、冷えたお茶、経口補水液、凍ったアクエリアス等の熱中症対策品の販売に加え、キャンピングカーのエアコン設置、熱中症警戒アラート測定器の貸出など、猛暑の中でも安全に活動できる方法を模索しています。

令和元年度後半からの約3年は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、全盛期の4分の1まで利用が落ち込んだ時期もありましたが、この間アフターコロナを見据えて新たな利用者サービスや新規プログラムの開発、環境整備などに重点的に取り組みました。



コロナ感染の収まりと共に利用は徐々に回復し、加えてこれらの取

組みの成果もあり、現在の年間利用者数は約4万人まで回復しています。

◆主催事業の近年の新しい取り組み(一例)——

わくわくの郷では、年間を通して多彩な主催事業を実施しています。社会の変化や皆様のご要望に対応しながら毎年、ブラッシュアップを図っています。ここでは、近年の新しい取り組みの一例を紹介します。



□ナイトプログラム体験会

住宅街の公園の中にあるという立地の良さを活かし、家族やグループで気軽に参加できる「ナイトプログラム体験会」を実施しています。夏や冬の夕方～夜の時間帯を利用し、キャンプファイアやたき火、星空観察など自然体験の機会を提供しています。またプログラム体験を通して、参加者同士も交流を図ることができると好評を得ており、とても人気の事業となっています。



□ひとり親家庭のファミリーキャンプ

家族単位でテントに宿泊し、自然の中でのんびり、ゆったりと野外自炊やクラフトなどのプログラムを楽しみます。「はじめてのキャンプでしたが整った環



境の中で安心して楽しめました」、「スタッフのサポートがあり親子共々楽しむことができました」、「シングルマザー(ファザー)同

士の横のつながりができました」などの声をいただいています。

□主催事業の申込にネット予約を導入

試行期間を経て、令和5年度から主催事業の申込にネット予約を導入しました。利便性が向上し、飛躍的に申込が増え、多くの事業が抽選となっています。「申込は便利になったけど、抽選漏れで参加できないことが増えた」という声や、従来に比べ当日キャンセルが多く発生するなど新たな課題も生じています。

わくわくの郷がリニューアルして15年、協会が指定管理者となって12年。これからも社会の変化や皆様のご要望に対応しながら市民の方々や利用者の皆様に愛される施設を目指して運営してまいります。

◆お問合せ

吹田市自然体験交流センター・
わくわくの郷

〒565-0873大阪府吹田市藤白台5-20-1

TEL:06-6872-0713

FAX:06-6871-7747

■ 事業レポート ■

◎スキーキャンプin白鳥高原

3月24日～26日の2泊3日、岐阜県郡上市にあるスノーウェーブ白鳥高原で「スキーキャンプin白鳥高原」を実施しました。白鳥高原は、白山国立公園のふもとと標高1200mに位置し、目前に白山連峰のパノラマが広がる自然豊かな高原です。スノーウェーブパーク白鳥高原は、国内有数の豪雪地域にありながら、人工降雪機と人工造雪機を兼ね備えていることから例年3月末でも安定して積雪があり、初心者から経験者まで存分にスキーを楽しむことができます。

1日目、ホテル到着後、まずは、雪遊びタイムです。一面に広がる白銀の世界の中で、雪合戦や雪だるま作り、ソリ遊びをグループごとに思いっきり楽しみました。



2日目は、楽しみにしていたスキープログラムです。初めてスキーをする子どもは、服装や装備、スキーブーツの履き方など一つひとつ確認しながら、スタート。

最初は、スキーブーツやスキー板の扱いに苦戦していましたが、慣れてくると、リフトに乗って緩やかな斜面を滑りました。スキー経験のある子どもは、リフトに乗って長い距離をスピードコントロールしながら滑ることができるよう練習をしました。夜には、雪



玉を固めたスノーボールの中にろうそくを灯した「スノーキャンドル」の幻想的な灯りを眺めながらみんなで歌を歌いました。

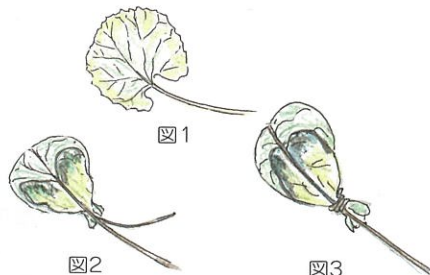
3日目は、あいにくの天候だったためグループで考えたオリジナルのすごろく大会やお土産タイムを楽しみました。

全国的に暖冬傾向が顕著に表れた今シーズンでしたが、3月後半にも関わらず、スキー場にはたくさんの雪があり子どもたちは、スキーや雪遊びを楽しむことができました。来シーズンも春休みにスキーキャンプin白鳥高原を計画していますので、みなさまぜひご参加ください。

コラム 野遊びのすずめ つきの柄杓(ひしゃく)

暑い夏の山歩き、谷筋から流れ落ちるひんやりとした谷水を「ごくごく」と飲んだあの美味しさは、今でも忘れられません。しかし今、衛生上そんなことをして良いのだろうかと思うこともあります。

ある人から、より以上に、谷水を美味しく飲む方法があるのだと教わりました。それは手のひらですくって飲むのではなく、野のフキで作った杓で飲むのです。フキの香りが漂い、何倍も美味しい飲み水になります。不思議と谷水が流れ落ちるような湿っぽいところにフキは生育しています。



作り方ですが、水が漏れない虫食いのない葉を選び、図1のように茎の根元から切り取ります。次に図2のように茎の根元から表皮を剥がすように引き上げ、葉を包み込むようにして杓とし、図3のようにその紐状のもので葉元を巻きつけて完成です。100円飲料水より何倍も美味しいです。

(草木遊び塾 主宰 松井鴻)

近鉄バス



近鉄バス株式会社

〒577-0055 東大阪市長栄寺19-17 TEL 06-6781-0711(代) FAX 06-6781-8088

当社では新型コロナウイルス感染予防対策として、アルコールの積込、車内消毒、また車内設備としまして5分程度で車内外の空気が入替る換気システム及び、全車プラズマクラスターの搭載と車内抗菌加工を施しております。詳しくは当社ホームページをご覧ください。観光バスのお見積り、ご用命は下記お電話番号へお問い合わせください。

ホームページ <https://www.kintetsu-bus.co.jp/>

検索 近鉄バス

あいす・おおさか ディーズ!ブラン

■2024年5月～6月の小学生対象キャンプ予定

事業名	日程	場所	対象	交通機関	参加費	集合解散
エンジョイ!マリンキャンプ	5月11日(土)～12日(日) 1泊2日	大阪府岬町 大阪府立青少年海洋センター	小学2年～ 6年生	JR/ 南海電鉄利用	22,000円	大阪駅 天王寺駅
はじめてのキャンプA	5月18日(土)～19日(日) 1泊2日	大阪府和泉市 大阪市立信太山青少年野外活動センター	小学1年～ 4年生	JR利用	18,000円	天王寺駅
奥びわこアドベンチャーキャンプ	6月8日(土)～9日(日) 1泊2日	滋賀県高島市 吹田市立自然の家	小学1年～ 6年生	貸切バス 利用	27,000円	新大阪駅
はじめてのキャンプB	6月29日(土)～30日(日) 1泊2日	大阪府和泉市 大阪市立信太山青少年野外活動センター	小学1年～ 4年生	JR利用	18,000円	大阪駅

申込状況や詳しい内容についてはお問い合わせください。

TOPICS トピックス

今年もボランティアスタッフ卒業式を行いました！

2月20日に、吹田市自然体験交流センターにおいて、令和5年度ボランティアスタッフ卒業式を行いました。今年度は42期生10名、43期生5名、44期生1名の合計16名が卒業を迎えました。

卒業式には、来賓として大阪天満橋ロータリークラブから6名の委員の方々にご臨席いただき、箕村会長から卒業スタッフたちへ青年功績賞と記念品を授与されるとともに、温かい励ましのお言葉を頂戴しました。

コロナ禍でのボランティア活動は、準備を進めても研修や活動が中止となったり、安全面でさまざまな配慮が必要となるなど、苦勞の多いものでしたが、学生生活の貴重な時間を子どもたちとのキャンプ活動や野外活動施設での活動に費やすことで、さまざまな経験を積み重ね、人間的に大きく成長しました。社会へ羽ばたく卒業生の皆様の今後のご活躍を心よりお祈りしています。



TOPICS トピックス

大阪市教育会館の新館建設工事が進んでいます

令和6年1月から大阪市教育会館の新館の建設工事が始まっています。現在、B棟のあった場所に新館を建築するための基礎工事が進んでいます。新館竣工後、協会事務局は5階に入居する予定です。



◆多目的広場でサッカーや野球スポーツ合宿のできる施設

大阪市立信太山青少年野外活動センター

大阪府和泉市伯太町 TEL 0725-41-2921

<https://shinodayama.com/>

◆山や川、湖など一年中自然を満喫できる施設

吹田市立自然の家（もくもくの里）

滋賀県高島市今津町南生見 TEL 0740-24-0131

<https://mokumoku-suita.jp/>

◆野外活動や環境学習、生涯学習活動に適した施設

吹田市自然体験交流センター（わくわくの郷）

大阪府吹田市藤白台 TEL 06-6872-0713

<https://wakuwaku-suita.com/>

◆学び、活動し、交流できる施設

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館（ゆいぴあ）

青少年活動サポートプラザ 大阪府吹田市山田西

TEL 06-6816-8552 <http://support-suita.jp/>

◆学校オリエンテーションキャンプや合宿に適した施設

京都府立るり溪少年自然の家（グリーンパルり溪）

京都府南丹市園部町 TEL 0771-65-0190

<https://kyoto-rurikei.jp/>

◆青少年活動・野外活動についての相談は

大阪市青少年活動協会サービスステーション

大阪市青少年活動協会 事務局 TEL 06-6942-0410